

# IETF 117 Report

— 技術的な社会貢献を実現するために

2023/08/28

九州工業大学  
岩井正輝





# 岩井 正輝 / Masaki Iwai

国立大学法人九州工業大学  
情報工学部 情報・通信工学科 光來研究室

**wolfSSL Inc.**

Student Intern

**Google Developer Student Clubs**

熊本高専 Chapter - Backend Lead

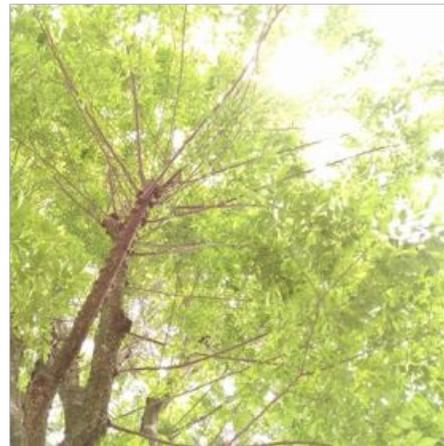
Kyutech Chapter - Chapter Lead // 設立準備中

**興味分野**

Linux, Network, Security, etc.

**IETFとの関わり**

高専やwolfSSLにおける研究/開発でRFCを参照。  
Meetingへの参加は今回が初めて。



**Profile**

[tamasan238.work](https://tamasan238.work)

**LinkedIn**

[linkedin.com/in/iwai/](https://linkedin.com/in/iwai/)

**X (Twitter)**

@tamasan238



# Plenary - Open Mic Session



## 多様性の尊重

Diversity & Inclusionを謳っているが、  
IESG / IAB / LLCメンバーは  
**old white guy** ばかりじゃないか



直接的な要因：候補者の多くを“old white guy”が占めていた  
→ **スキルを持ち合わせている候補者の育成が必要**



## 候補者育成に至る以前に...

- Meeting参加に要する費用は高額
  - 参加登録料：約 1,000 USD ≒ **15万円**
    - 今回のオンサイト参加費免除者：9名
  - 交通費 + 宿泊費 ≥ **50万円**
  - **1年に3回**，北アメリカ・アジア・ヨーロッパで実施
- 少なくとも年に3回，1～2週ずつ通常業務から離れることとなる
  - 学生：授業，研究，課外活動，試験，...
  - 社会人：企業の**利益に必ずしも直結しない**  
人的・経済的リソースに余裕がなければ，離脱を承諾できない

2, 3回目の参加に繋がらないケースが増えている



# 新規参加者の定着率を高め、ひいては IESG/IAB/LLCメンバーの多様性を確保するために

## 経済的支援

- 参加登録料免除の拡充
- フェロープログラムの実施

## スキルアップ支援

- 新規参加者を対象としたトレーニングの拡充
- Boardメンバーに興味を示す人向けの、より高度なトレーニングの実施

## その他

- 大学などの教育機関との連携
- マネージャークラスを対象とした、IETFの認知度向上
- 各企業で、参加者選定にあたり配慮を求める

身近な環境で考えてみる



# 日本からの参加者数増加に向けて

- 多くの若手エンジニア・学生を連れてゆく？
  - 参加費 + 旅費  $\geq$  50万円
    - 利益を追求する企業にとって、許容できる人数には制約がある
    - 今回、日本からの参加者は60名 (オンサイト：40名，オンライン：20名)

bibital LLC / NICT / Preferred Networks / ALAXALA Networks / Google / SoftBank / JPRS /  
NTTコミュニケーションズ / JPNIC / SECOM / GMOサイバーセキュリティ by エーエ / 楽天 / Fastly /  
DigiCert / WIDEプロジェクト (順不同，敬称等略，公開分のみ)
  - 多くの学生は、RFCを読み解いて研究に利用する程度
    - draftの作成やWGでの議論ができるほどのめり込める学生は...
- 将来的にIETFなどの国際的なコミュニティでプレゼンスを  
発揮できるようになるための、**橋渡しの存在**が求められているのでは

# 挑戦しやすい環境づくり

特に地方在住者は，“経験を積む機会”にアクセスすることが難しい

- 時間的制約
  - 首都圏でのイベント参加には，多くの場合で前泊 / 後泊が必要
  - 授業欠課による影響を鑑みて，断念に至る確率が相対的に高い
    - 出欠記録の厳密化
    - 各回小テストの欠損 → GPA悪化 → 進学・就職・奨学金選考などに影響
- 経済的制約
  - 福岡 → 東京 往復+1泊 = 家賃1ヶ月分

小さな成功体験を積み重ねることで自信を得て、  
自力で次のステップに進めるようになる  
→ **容易に第1歩を踏み出せる場が必要**



Google Developer Student Clubs  
Kyushu Institute of Technology

<https://gdsc.community.dev/kyushu-institute-of-technology/>

# IETF 117 Report

— 技術的な社会貢献を実現するために

2023/08/28

九州工業大学  
岩井正輝

